

平成30年度第1回八街市地域公共交通協議会 議事録

開催日時	平成30年6月25日(月) 15:00~16:00
開催場所	八街市役所第1会議室
参加人数	23名、傍聴なし
協議内容	<p>1. 開 会 (事務局)</p> <p>定刻となりましたので、平成30年度第1回八街市地域公共交通協議会を開会いたします。</p> <p>本日の出席者は代理出席者6名を含めまして委員27名中、23名でございます。</p> <p>一般社団法人千葉県バス協会専務理事 成田様、千葉県佐倉警察署交通課長 山下様、八街市シニアクラブ連合会長 伊藤様、国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官 宮澤様、以上4名から欠席の連絡を頂いております。</p> <p>それでは本日の協議会を開きます。</p> <p>はじめに鶴澤副市長よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>2. 挨拶 (副市長)</p> <p>本日は、公私ともに忙しいなか、平成30年度第1回八街市地域公共交通協議会にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>今年度の4月より八街市の副市長の任を拝命いたしました鶴澤と申します。</p> <p>挨拶に先立ちまして、ご報告させていただきます。</p> <p>去る3月17日、本市のふれあいバスとオートバイとが衝突し、相手の方がお亡くなりになる交通事故が発生いたしました。</p> <p>関係者の皆様方にも、多大なるご迷惑・ご心配をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。</p> <p>事故現場については、白線の引き直しやカーブミラーの設置など道路環境の改善を実施したところであり、今後、市・事業者ともに再発防止に努めてまいりますので、皆様にも何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、本市では、皆様のご助力のもと策定しました「八街市地域公共交通網形成計画」、「八街市地域公共交通再編実施計画」に基づき、昨年度10月には、ふれあいバスの再編や高齢者外出支援タクシー制度など各事業を開始いたしました。</p> <p>平成32年度までの計画期間において、これらの事業を着実に推進してまいりたいと思いますので、皆様には引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>本日の会議では、ふれあいバスの路線再編に伴い、国の支援を得るための「八街市地域内フィーダー系統確保維持計画」などが議題となっております。</p> <p>委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から忌憚ないご意見をいただきますようお願いしまして、私からの挨拶とさせていただきます。</p>

(事務局)

ありがとうございました。

次に、平成30年度を迎えて初めての協議会となり、新しく委員となられた方もおりますので、委員及び事務局職員の紹介をさせていただきます。

委員の皆さまにおかれましては、自席で自己紹介をお願いいたします。

それでは副市長から時計回りの順でお願いいたします。

(各自自己紹介)

(事務局)

それでは、議題に入らせていただきます。本来であれば、八街市地域公共交通協議会規約第9条の規定により、会長に議事進行を務めていただくこととなっておりますが、人事異動により、会長が不在となっておりますので、事務局にて議題1まで進行させていただきます。

3. 議 題

(事務局)

それでは、議題に入りたいと思います。

議題（1）会長の選任について

(事務局)

議題（1）「会長の選任」について、事務局より説明させていただきます。

(事務局)

議題1について説明させていただきます。

本協議会の会長については、八街市地域公共交通協議会規約第5条の規定により、委員の皆様による互選にて選出していただくこととなっております。前任の会長でありました松澤前副市長の異動に伴い、会長の任から離れたことから、今回新たに選出していただくとするものです。

議題1「会長の選任」について説明は以上です。

(事務局)

それでは、八街市地域公共交通協議会規約第5条の規定により、委員の皆様の互選となりますが、選出につきまして意見はございますか。

(副市長選出の声)

(事務局)

ただいま、副市長選出との意見がございましたが、皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

(議事録)

それでは、会長には鵜澤副市長にご就任いただきたいと思います。

また、これより議事進行を会長にお願いしたいと思います。

会長 よろしく願いいたします。

(会 長)

会長に選出いただきました副市長の鵜澤でございます。

よろしく願いいたします。

早速ではございますが、次の議題に入りたいと思いますので、協議会の円滑な進行にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

議題（２）平成 29 年度事業報告及び平成 29 年度歳入歳出決算の認定について

(会 長)

次に、議題（２）「平成 29 年度事業報告及び平成 29 年度歳入歳出決算の認定」について、事務局より説明を求めます。

(事務局)

議題 2 「平成 29 年度事業報告及び平成 29 年度歳入歳出決算の認定」についてご説明申し上げます。資料 1 をご覧ください。

(資料 1 に沿い説明)

(会 長)

ただいま、事務局から説明のありました「平成 29 年度歳入歳出決算」については、去る 3 月 26 日に清水委員及び前委員でありました岡崎委員に監査をしていただきました。

それでは、清水委員から監査報告をお願いいたします。

(監査：清水委員)

監査報告をさせていただきます。

平成 30 年 3 月 26 日、通帳及び各帳簿類を確認した結果、適正に処理がされておりましたことを、監査報告申し上げます。

(会 長)

ありがとうございました。

ただいま、事務局から説明のありました「平成 29 年度事業報告及び平成 29 年度歳入歳出決算の認定」について、質疑はありますか。

(質疑なし)

(会 長)

質疑がなければ、これで質疑を終了します。次に採決をいたします。
この議題を認定することにご異議ありませんか。

(異議なし)

(会 長)

この議題は承認されました。

議題（３）八街市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

(会 長)

次に、議題（３）「八街市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定」について、事務局より説明を求めます。

(事務局)

議題３「八街市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定」についてご説明申し上げます。資料２をご覧ください。

(資料２に沿った説明)

以上で、説明を終わらせていただきます。ご審議の程よろしくお願いいたします。

(会 長)

ただいま、事務局から説明のありました「八街市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定」について、質疑はありますか。

(轟委員)

ふれあいバスの収支率について直近の数値はどうなっていますか。
また、八街市地域公共交通網形成計画との整合性は取れていますでしょうか。

(事務局)

直近の収支率は、平成２９年度が２５．８％となっています。
また、こちらの数値目標は網形成計画には記載がありません。

(轟委員)

わかりました。来年度以降で結構ですが、もう少し目標値を高く設定してもよろしいのかなとも思いますので、ご検討お願いいたします。
また、公共交通に対する満足度については、現状値８．１％、目標値１０％となっ

ていますが、統計的には誤差の範囲とも読み取れますので、詳細な数値に囚われすぎないことも必要ではと思います。

(中村委員)

満足度10%とは、90%の人は不満を感じていると示しており、目標としては非常に低いものではないでしょうか。

(事務局)

満足度については、網形成計画にて、平成32年度の目標値を10%と設定しておりますので、それに併せて適用いたしました。

また、収支率につきまして具体的な目標数値は記載していませんが、公共交通に係る市の財政負担を現状程度に維持すると記載しております。

満足度、収支率ともに上回ることができるよう努めてまいりたいと思います。

(会 長)

満足度については、委員のご指摘のように高い数値を設定することが重要であるとのことご意見もありますが、当計画については、網形成計画との整合性から事務局案へのご理解をお願いいたします。

(中村委員)

目標値とは、達成目安としてある程度達成が予想される数値を目標値に設定しては、その先の進歩がありませんので、今後の検討材料としていただきたいと思います。

(会 長)

ありがとうございます。

ほかに質疑はありませんか。

(江澤委員)

ふれあいバスについては、特別交付税の措置があると思いますが、対応の予定は如何でしょうか。

(事務局)

特殊事情があった場合には、特別交付税として国から交付されるものと認識しております。実績の所要額を元に交付申請いたしますので、フィーダーの補助金が交付認定されれば、二重交付とならぬよう対応いたします。

(会 長)

ほかに質疑はありませんか。

(質疑なし)

質疑がなければ、これで質疑を終了し、採決をいたします。
この議題を承認することにご異議ありませんか。

(異議なし)

この議題は承認されました。
事務局におかれては、速やかに国土交通省への申請を行ってください。
以上で、本日の議題については終了となりますが、次第のその他に入る前に、質疑等はありませんか。

(事務局)

事務局からでございます。本日、議題としておりませんが、前監査委員でありました千葉県交通計画課の岡崎様が、人事異動により委員の任を離られましたので、本協議会規約第15条に則り、会長から1名の方を監査委員に指名していただきたく思います。
よろしく願いいたします。

(会長)

ただいま事務局からありましたように、現在監査委員が1名不足している状況でございます。
会長の指名ということですので、本日は代理の方にご出席いただいておりますが、例年どおり千葉県交通計画課 企画調整班長の川俣委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
また、副会長の轟委員、監査委員の清水委員におかれましても、引き続きご協力をお願いいたします。
ほかに何かありませんか。

(質疑なし)

何もなければ、これで議題を終了し、次第4. その他にうつります。

4. その他

(会長)

その他でございますが、事務局より何かありますか。

(事務局)

・事務局から2点の報告事項
【ふれあいバスの利用状況について】

【高齢者外出支援タクシーの利用状況について】

【高齢者運転免許証自主返納事業の利用状況について】

(会 長)

ただいま事務局からありました報告事項について、質疑はありますか。
質疑がなければ、事務局は次の報告をお願いします。

(事務局)

・山武市が導入予定の成田方面への新規路線バスについて説明

【実証実験期間】平成30年10月から平成33年度

【運行経路】山武市役所～京成成田駅

【その他】

- ・公共施設等を活用してP&BRを整備する
- ・八街市としては、路線バス「八街線」との競合とならないよう留意いただき、かつ、引き続き当該路線については、連携支援をお願いした。

(会 長)

ただいま事務局からありました報告事項について、質疑はありますか。

(佐藤委員)

P&BRについて、説明をお願いできますか。

(事務局)

自家用車でバス停付近の駐車場まで向かい、駐車場に停車させ、目的地まではバスを利用することです。この場合、既存の公共施設等の駐車場を当該P&BRとして活用する予定とのことでした。

(佐藤委員)

観光地でも渋滞解消のため、取り組んでいる内容であったかと思います。八街市でも、例えばバス停が廃止になった地域でもこのような利用の仕方を検討していただけると幸いです。

(会 長)

ありがとうございます。今のはご意見として受け取らせていただいてよろしいでしょうか。

(佐藤委員)

高齢者外出支援タクシーなど、事業が始まったばかりですので、今すぐではなく、将来的に検討をお願いいたします。

(会 長)

ほかに質疑はありませんか。

(中村委員)

八街線と利用客の重複を避けたいとのことですが、むしろ相互送客を推進していかなければ、ますます衰退してしまうと考えますが如何でしょうか。

(事務局)

八街線は、国・県から補助を受けている路線です。千葉県から競合部分について指導もあり、両市の協議の結果、重複部分へのバス停設置は避けるという経緯がございます。

(中村委員)

理解いたしました。今後の発展のためにも、規制や要望に何らかの理由をつけて退ける、諦めるという姿勢では先へ進めないで、地域を巻き込んでひとつひとつ検討し、解決していくという姿勢でお願いしたいです。

(会 長)

全体の利便性が高まり、需用も変化していくということは事務局も理解しておりますが、まずは路線を絶えさせないことを重視しつつ、これから検討させていただければと思います。

ほかにご意見などはございませんか。

(今井委員)

八街線については国・県、また沿線の市町から補助をいただいております。また、小学校への通学や福祉施設への通所に利用していただいておりますので、新規路線バスによって利用者がこちらに流れてしまえば、一層存続の危機に瀕してしまうために、八街線との重複部分へのバス停は設置しないこととしました。バス停の数自体を多く設置しないことで、速達性にも配慮できていることと思います。

実証実験が開始し、利用者から様々な意見が挙がってくれば、対応していきたいと思っています。ご理解をお願いいたします。

(会 長)

ほかに質疑はありますか。

(佐藤委員)

市内にはふれあいバスが運行していますが、路線バスも市内にもっと入り込んで運行できないでしょうか。ふれあいバスと路線バスとで、時間帯により交互運行をするなど柔軟性を持たせられないでしょうか。ふれあいバスは便数も少ない状況であるので、足の確保が困難です。

(中村委員)

八街市の住民が、成田空港まで行く際、例えば山武北小学校まで自家用車で向かい、P & B Rで路線バスに乗車することは可能なのでしょうか。

(今井委員)

可能です。

佐藤委員の仰ったバスについては、もっと自宅の近くまで運行してほしいということでしょうか。

(佐藤委員)

自宅前までという訳ではありませんが、各地域の主要的な道路、例えば市役所側から住野や文違の方には路線バスがありますが、泉台や榎戸方面には運行はなかったと思います。成田の日赤病院方面へ向かう際には、電車も1時間に2本と少ないですし、送迎を頼むことも多くなってしまいます。

(今井委員)

市内は比較的狭い道路が多く、ふれあいバス程度のサイズでない限り、路線バスがこれ以上入り込んで運行することは道路事情から厳しいところです。

利用者数や乗務員不足などの問題も考えますと限界かなと思っております。

(会 長)

ほかに質疑やご意見などはございませんか。

(轟委員)

中村委員と同様に、路線の競合というよりは、利便性を広げたいと思っております。実際に、八街から成田方面への利用はあるのでしょうか。また、ある場合に、新規路線バスに乗り換えるという見込みはあるのでしょうか。

実証実験ですので、バス停の設置など柔軟に実施していただきたいと思っております。

(今井委員)

利用者に対してアンケートなどは実施しておりませんので、データとして保有はしておりません。

(会 長)

それでは、事務局からの報告は終了させていただきまして、ほかに全体をとおして何かございましたらお願いいたします。

(今井委員)

弊社で運行しております八街線ですが、土・休日のダイヤ改正を7月16日より予定しております。5月の乗降調査で、最終便が土曜日は4人、日曜日が0人で

した。乗務員にヒアリングをしたところ、最近はそのような傾向にあるとのことで、実際に現地で確認を行い、最終便より前の時間に家族が迎えに来ている方などいらっしゃいましたので、便数はそのままに、最終便の時刻を約1時間早めさせていただき、今後利用者の方からご意見などを伺いながら、調整してまいりたいと考えております。

(会 長)

ありがとうございました。

質疑などございますか。

(中村委員)

知人の話ですが、時々成田から千葉交通(株)の住野線を利用して八街駅まで来て、ふれあいバスに乗り継ぐことがあるのですが、道路事情により乗り継げないことがあるようです。仕方ないこととは思いますが、バスの現在地を把握したり乗務員同士で連絡を取り合ったりといったことはできないのでしょうか。

(鵜澤委員)

高速バスについては導入していますが、今後路線バスにも可能な限り導入を進めてまいりたいと考えております。

(今井委員)

バスロケなどの導入にも設備投資がかかりますので、今は取りかかれない現状です。ふれあいバスについては、事業者や市で、5分間隔でバスの位置を確認できるシステムを導入しており、問い合わせがあれば対応しています。高速バスも位置の把握は可能です。八街線にノンストップバスを導入できたところですので、バスロケのシステムについては検討の時間をいただければと思います。

5. 閉会

(進 行)

私の方から1点、委員の皆様の任期が今年の9月をもって満了となりますが、引き続き、本協議会にご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、依頼文書については、後日、皆様に発送させていただきます。

それでは、以上をもちまして、平成30年度第1回八街市地域公共交通協議会を終了させていただきます。

皆様、大変お疲れさまでした。本日はありがとうございました。